

2000年(平成12年)9月20日

アイヌタイムズ第14号日本語版

アイヌ語を書く時に使われる「新しいカタカナ文字コード」ができました

アイヌ語を書き時に使われる「新しいカタカナ文字コード」ができました

ワープロやパソコン上に、アイヌ語が書けるように、1999年度末までにJCS(符号化文字集合)調査研究委員会は、新しいカタカナ文字コードを新しいJIS規格の中へ入れるだろうと言われてきました。

2000年1月20日に通産省は、新しいJIS規格を作りました。

新しいJIS規格は、JIS X0213:2000と言われています。

この規格の中にアイヌ語を書くときに使われる新しい20のカタカナ文字コードがあります。アイヌタイムズ第8号にも新しい20文字が書

かれてますが、使われる新しいカタカナ文字は、次のとおりです。

片仮名半濁点付き“セ” ce セ°

片仮名半濁点付き“ツ” tu ツ°

片仮名半濁点付き“ト” tu ト°

片仮名小書き“ク” k ク

片仮名小書き“シ” s シ

片仮名小書き“ス” s ス

片仮名小書き“ト” t ト

片仮名小書き“ヌ” n ヌ

片仮名小書き“ハ” (a)h ハ

片仮名小書き“ヒ” (i)h ヒ

片仮名小書き“フ” (u)h フ

片仮名小書き“ヘ” (e)h ヘ

片仮名小書き “ホ” (o)h ホ

片仮名小書き “プ” p プ

片仮名小書き “ム” m ム

片仮名小書き “ラ” (a)r ラ

片仮名小書き “リ” (i)r リ

片仮名小書き “ル” (u)r ル

片仮名小書き “レ” (e)r レ

片仮名小書き “ロ” (o)r ロ

インターネット上にも、その文字コードがあります。<http://jcs.aa.tufts.ac.jp/jcs/pubrev/codetbl21.pdf>

この新しい JIS 規格は、日本工業標準化法という法律で作られています。しかし、この規格は、それを使いたい人を利するために用意されるものです。

それで、パソコンを使う人たちがどうしてもその文字を欲しがるならば初めて、ソフトを作る会社も、それを OS やアプリケーションに入れていくでしょう。

ユニコードは、世界中のパソコン上で使われる文字コードです。ユニコードにこの文字を入れたならば、パソコン上で新カタカナ文字を使うことができます。

Windows OS (パソコン基本ソフト)、MS-IME (かな漢字変換システム) を作ったマイクロソフトや、ATOK (かな漢字変換システム) を作ったジャストシステムは、ユニコードにこの文字があれば、新しい文字がちゃんと使えるようになるはずだと言っています。

[横山 裕之] 沙流・千歳

アイヌタイムズ第14号日本語版 (季刊)

発行所	アイヌ語ペンクラブ 〒055-0101 沙流郡平取町二風谷 80-25
発行責任者	野本 久栄
編集責任者	浜田 隆史
日本語版担当	稲垣 克彦